

科目責任者 渡邊 誠 (医薬品評価学研究室)

■ 教育目的

1. 臨床薬剤師として必要な知識と技能を演習形式の授業で身につける
2. 学生が自分の希望に合わせていくつかの内容から演習項目を選択できる
3. バイタルサイン演習を高機能シミュレータを利用して学ぶ
4. 臨床問題を解決するための IT リテラシーと英語能力を学ぶ
5. 実践的な薬物動態学の能力を磨く
6. 臨床統計を学ぶ
7. アドバンストな SOAP 演習を行う
8. 電子カルテに触れて、症例を学ぶ

■ 学習到達目標

6年制薬剤師教育のまとめ教育として、系統講義の知識と長期実習での実務経験を演習形式で止揚し、よりレベルの高い統合的な能力を身につける。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：医療倫理、生物統計、非臨床試験、臨床試験、医薬品情報、関連法規などこれまでに修得した医薬品開発関連の知識や薬物治療の知識を復習しておく

復習：講義資料を復習する

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1～2	オリエンテーション	授業のオリエンテーションを行い、各自が科目 選択を選択した後にグループ形成を行い、各演習のオリエンテーションをテーマ毎に行う	C13-1、2、3 C15-1、2、3
3～14		4～5 種類の演習テーマについて SGD 形式で演習する テーマは薬物治療シミュレーション、アドバンスト PK 演習など	
15	補遺		

■ 授業分担者

渡邊 誠（責任者）、古澤 康秀（責任者）、池上 洋二（副責任者）、門田 佳子（副責任者）、阿刀田 英子、赤沢 学、熊澤 美裕紀、小松 楠緒子、松井 勝彦、宮嶋 篤志

■ 成績評価方法

授業出席（40％）参加態度（30％）、レポート（30％）により評価する

■ 教科書

各項目の授業資料

■ 参考書

『アプライドセラピューティクス』 緒方、越前、増原（テクノミクス）

『ワシントンマニュアル』 高久、和田（メディカルサイエンス）

『症例から学ぶ SOAP ワークブック』 緒方、越前、高橋（じほう）

■ その他

AB 合同授業（病院薬学コース・臨床開発コース選択学生）